

# 9

2024

## 三重病院

# ニュースレター

news letter vol.296

- 01 医療ソーシャルワーカーのおしごと  
糖尿病ワンポイントアドバイスNo.2
- 02 ～骨粗鬆症の食事～  
通所支援事業のひとコマ
- 03 1病棟～看護部のニューフェイスの紹介  
2病棟の子どもたちの生活のひとコマ
- 04 5病棟の生活のひとコマ②  
異動のごあいさつ～新任～  
ご存知ですか?“特定行為看護師”
- 05 今月のみえツウちゃん  
やまばとギャラリー／外来からのお知らせ
- 06 病院からのお願い／外来診察のご案内



## 医療ソーシャルワーカーのおしごと

### ■ どんなお仕事？ ■

病気やけがをすと思ってもみなかった生活面の困りごとが出てくることがあります。例えば、突然の病気でこれからどうしたらいいかわからないとき・・・仕事や学校のこと、家族のこと、入院中の人間関係で気になること。病気やケガは落ち着いたけど障害が残ったり、介護が必要になったりしたとき。他にも一家の大黒柱が倒れたときの生活費のことや、高額な治療が必要になった時の医療費の心配。私たちソーシャルワーカーは、患者さんご本人・ご家族の困りごとを聞いて、一緒にお話を整理し、解決に向けた支援を行います。三重病院には、3名の医療ソーシャルワーカーがおり、社会福祉士・精神保健福祉士など福祉の資格を有しています。また、地域連携専門の看護師と一緒に医療福祉相談室に配属されており、医療と福祉の両輪で皆様の暮らしをサポートしています。三重病院では、赤ちゃん・子どもから高齢者、神経難病の患者さんや障害のある方とご家族からのご相談が多いのですが、医療ソーシャルワーカーは他にも救急病院やリハビリテーション病院、緩和ケアや療養のための病院、介護老人保健施設など様々な医療機関等において、相互に連携を取り地域の情報の共有を図っています。

### ■ ソーシャルワーカーの歴史 ■

医療ソーシャルワーカーは1895年にイギリスで始まり、その後アメリカで広まりました。日本へは1929年に東京の聖路加国際病院に配属されたのが最初といわれています。戦後、GHQによって保健所や国立病院、済生会病院、赤十字病院などに配

置が進められました。厚生労働省から「医療ソーシャルワーカー業務指針」、①療養中の心理的社会的問題の解決 ②退院支援 ③社会復帰援助 ④受診受療の援助 ⑤経済的問題の解決 ⑥地域活動として、6つの基本業務が示されています。

### ■ 今取り組んでいること ■

また、ソーシャルワーカーは、個人の問題の相談だけでなく、それを社会の課題としていくや役割もあります。その1つとして、三重病院の他職種と共に三重県内の中勢地域の5市と、三重大学医学部附属病院の皆さんや、重症心身障害児者、医療的ケア児者とそのご家族、保健・医療・福祉・教育・行政の多岐にわたる支援者の皆さんと一緒に、にじいろネットという研究会を行っています。ソーシャルワークマインドをもった皆さんと力を合わせて、地域の一助になれるようこれからも頑張っていきます。

また現在、「福祉サービスの棚おろし」キャンペーン中です。ご自身の利用できる福祉サービスに漏れないか、障害基礎年金受給にむけた経過の整理など、気になる方は一度一緒に確認してみませんか？ご相談はもちろん、病院の中の保健室としてどうぞお気軽にお立ち寄りください。



(医療ソーシャルワーカー  
高村 純子)